

## 地域課題の解決に向けた取組

# 低コストで効率的な造林作業の普及

## 日高南部森林管理署

### はじめに

当署は、北海道の中央南西部に位置し、新冠町、新ひだか町、浦河町、えりも町の4町に所在する国有林約13万ヘクタールを管轄しています。

管内には、急峻な日高山脈が南北に走り、幌尻岳、ペテガリ岳、神威岳など1500メートルを超える高峰が連なり、日高山脈襟裳国立公園に指定されるなど観光資源にも恵まれており、登山などの森林レクリエーション等で多くの人々に利用されています。

また、日高山脈森林生態系保護地域など貴重な森林を有しています。



登山者の憧れペテガリ岳

管内の森林のうち人工林は、国有林と民有林のほとんどが主伐期を迎えており、木材資源の有効利用と同時に、伐採後の計画的な再造林の取組が必要となっています。

また、林業の成長産業化に資するため、民有林においても造林等の森林整備経費の縮減に向けた取組を進めていくことが必要なことから、低コストで効率的な作業を目指し取り組んでいます。

### 当署のこれまでの取組

☆国有林をフィールドに民有林関係者を招き、植付作業の効率化・低コスト化に向け、コンテナ苗の植栽体験と具体的な事例紹介を行っています。

☆コンテナ苗に関するメリット・デメリット、コンテナ苗製造技術の見える化等の情報共有を図るため、勉強会を日高振興局森林室と連携して実施し、併せてコンテナ苗等に関するアンケート調査を行い活用 の普及に取り組んでいます。



オーガによるコンテナ苗の植栽体験

### 地拵（枝条の存置）による造林経費縮減

今年度は、伐採から地拵までの一貫作業の中で、特に伐採後の造林経費の縮減に向け、地拵方法に視点をあて、無地拵をベースとした経費削減に取り組み、データの収集を行います。

具体的には、次の内容を検討するために、プロットの設定などを予定しています。  
①伐採後の枝条を整理せず存置して地拵にかかると経費の削減、②低密度植栽（ヘクタール1500/本）に

よる苗木代と植付経費の縮減、③存置する枝条を考慮した採掘機の活用、④コンテナ苗の利用、⑤下刈り作業の削減の可能性を模索するため、枝条を存置したところによる下層植生の繁茂状況の調査



枝条の存置による植栽（イメージ箇所）

### おわりに

主伐後の再造林や下刈りなどの育林経費の大半が造林初期に要するコストとなっています。国有林としては、民有林では取組が困難な先駆的な作業方法、低コスト作業システムの提案など地域（現地）の実情に応じた取組を行っています。